レジリアンス・プロジェクト平成21年度研究計画（Research Plan for FY2009）

１．氏名/所属:　梅津千恵子　（テーマ４）

２．具体的な研究課題（今年度）
1）コミュニティレジリアンスのフレームワーク、調査準備、文献調査
2）Agent-based modelの応用についての検討（州レベル、村レベル）
3）プロジェクト統合の具体化に向けたプラン策定

３．具体的な研究内容（今年度）
―コミュニティレジリアンス分析のための情報収集、来年度に調査予定
―ダム建設前の生活を体験した世代へのインタビュー
―レジリアンスアライアンスからケーススタディの作成を要請されているので具体的な作業。
―プロジェクトのアウトプットとしてのbook chapter構想に着手（WG?）手始めはインド

４．今年度末までの達成予定（上記の課題毎に，何をどの程度明らかにできるか）
1）コミュニティレジリアンスのための予備調査（南部州）
2）成果統合のための検討
3）レジリアンスワークブックの出版、ワークブックに基づくザンビアケーススタディの作成(Resilience Allianceより依頼されている。RAでは今年夏にケーススタディの整備を進めwikiに載せる計画が進んでいる。レジリアンスプロジェクトもその情報提供の対象となっている。）

５．今年度現地調査予定
1)時期　８月中旬か末から６週間程度
2)目的 コミュニティレジリアンスのための予備的聞き取り調査
3)内容/準備状況
―DMMU作成の調査票（世帯、コミュニティ、地方政府）の検討
―ルサカWS後６－８週間程度滞在予定

６．次年度以降の計画予定概要
（平成22年度）
1）コミュニティレジリアンスの調査（focus group interview）及び分析
2）インドでのWS開催（津波関連）・出版
（平成23年度）
1）
2）成果のまとめ・発表・出版準備
3）最終ワーックショップの開催　（地球研、ルサカ）

７．成果発表計画
発表予定学術誌（学術誌名）
発表予定学会（学会名・時期）2009年4月26-30; IHDP2009でのセッション企画（終了）
ワークショップ等　ルサカワークショップ開催

８．その他（何かあれば）